

【参考資料】就労支援機関及び企業に関するデータ

参考資料 1・・・チーム支援実績の推移

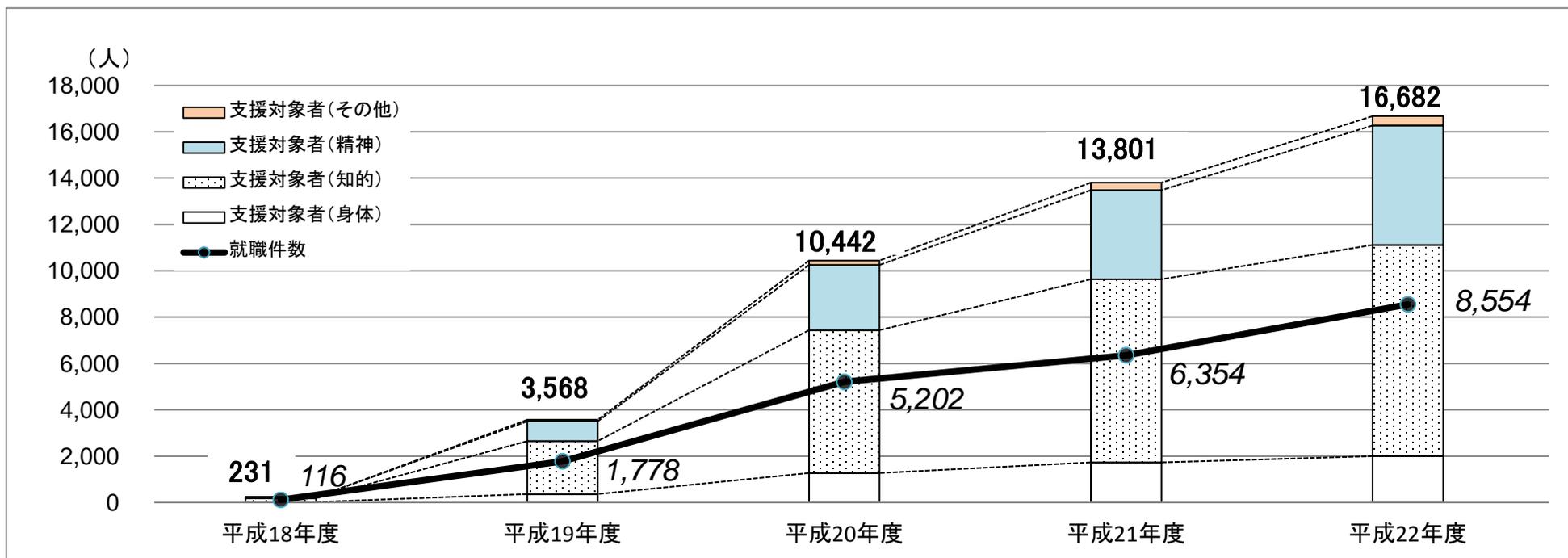
参考資料 2・・・職場適応援助者（ジョブコーチ）支援状況の推移

参考資料 3・・・企業規模別の障害者雇用状況の推移

参考資料 4・・・特例子会社における障害者雇用状況の推移

チーム支援実績の推移

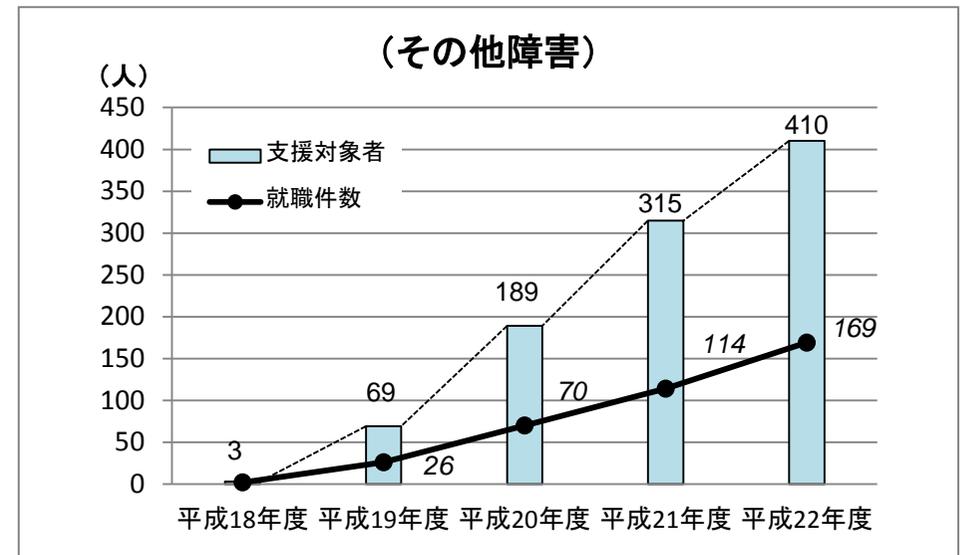
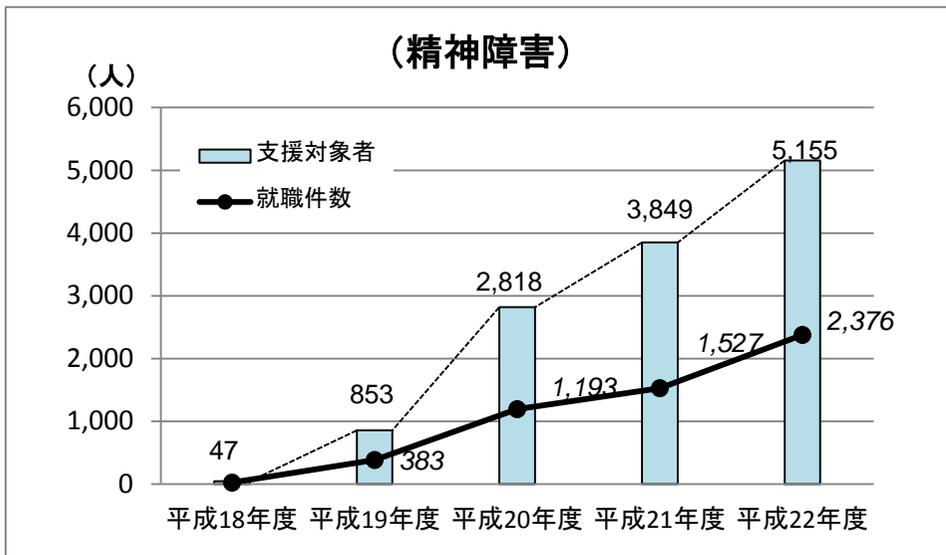
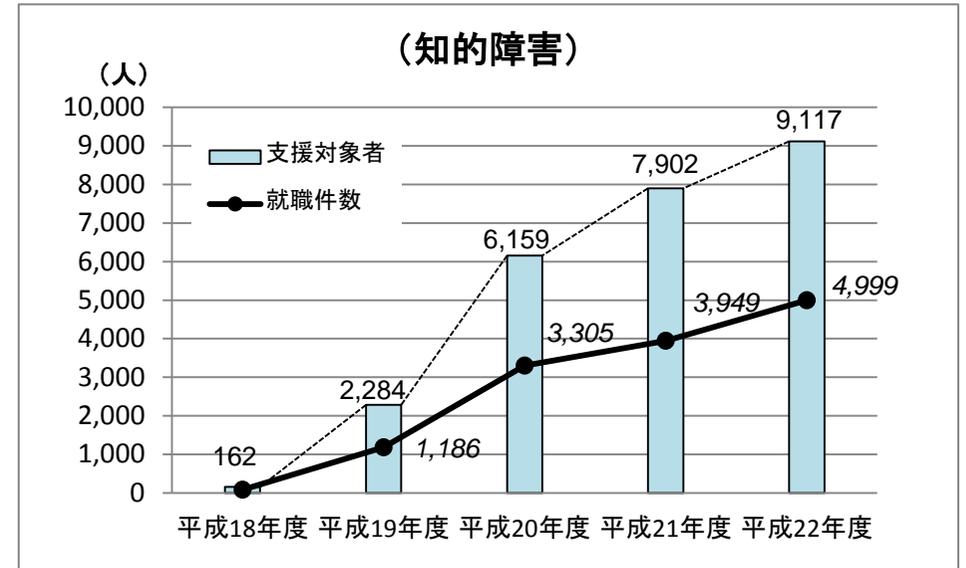
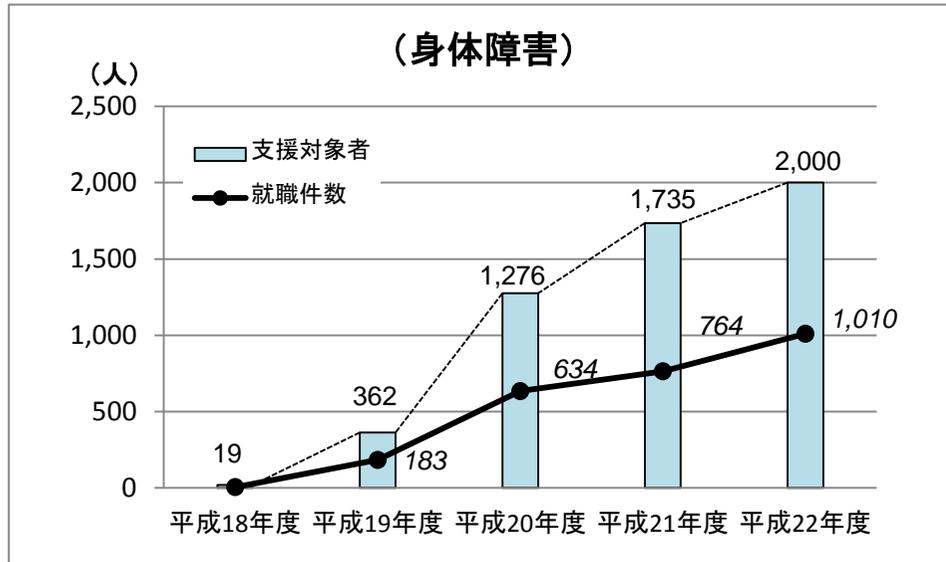
	支援対象者数					就職件数 ()内は支援対象者数に占める就職割合				
	計	身体	知的	精神	その他	計	身体	知的	精神	その他
平成18年度	231	19	162	47	3	116 (50.2%)	5 (26.3%)	87 (53.7%)	22 (46.8%)	2 (66.7%)
平成19年度	3,568	362	2,284	853	69	1,778 (49.8%)	183 (50.6%)	1,186 (51.9%)	383 (44.9%)	26 (37.7%)
平成20年度	10,442	1,276	6,159	2,818	189	5,202 (49.8%)	634 (49.7%)	3,305 (53.7%)	1,193 (42.3%)	70 (37.0%)
平成21年度	13,801	1,735	7,902	3,849	315	6,354 (46.0%)	764 (44.0%)	3,949 (50.0%)	1,527 (39.7%)	114 (36.2%)
平成22年度	16,682	2,000	9,117	5,155	410	8,554 (51.3%)	1,010 (50.5%)	4,999 (54.8%)	2,376 (46.1%)	169 (41.2%)



※ 平成18年度は、モデル事業として実施。平成19年度から、全国実施

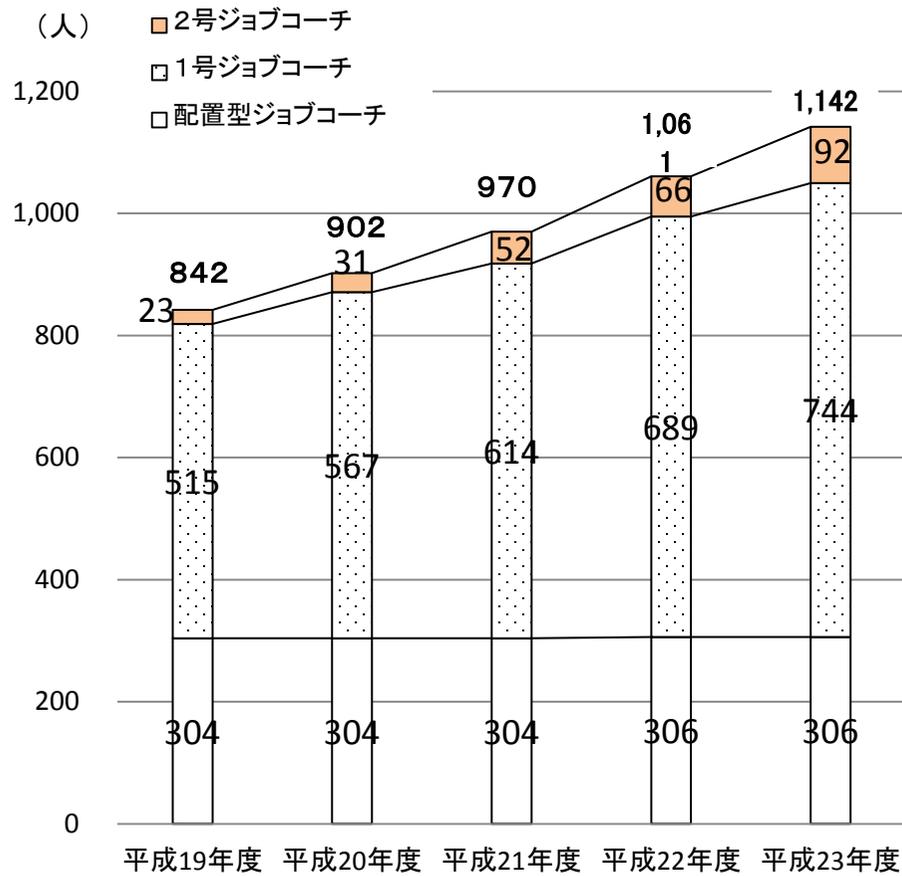
【資料出所：厚生労働省 職業安定局障害者雇用対策課調べ】

チーム支援実績(障害種別)

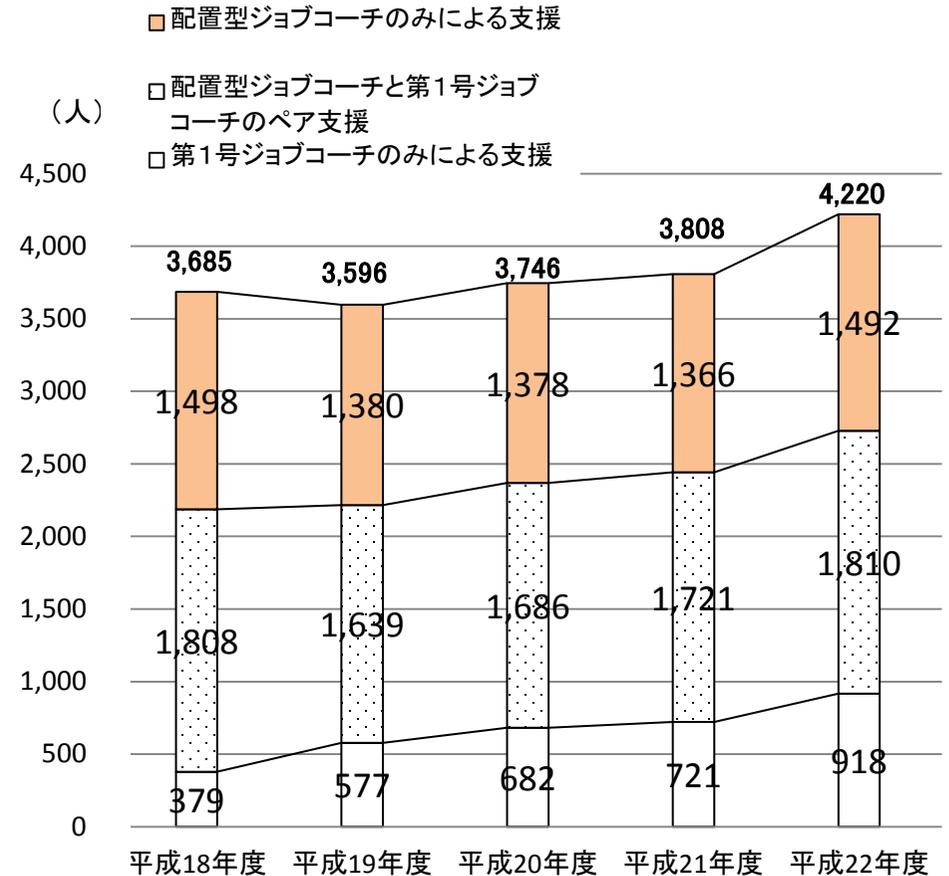


職場適応援助者(ジョブコーチ)支援状況の推移

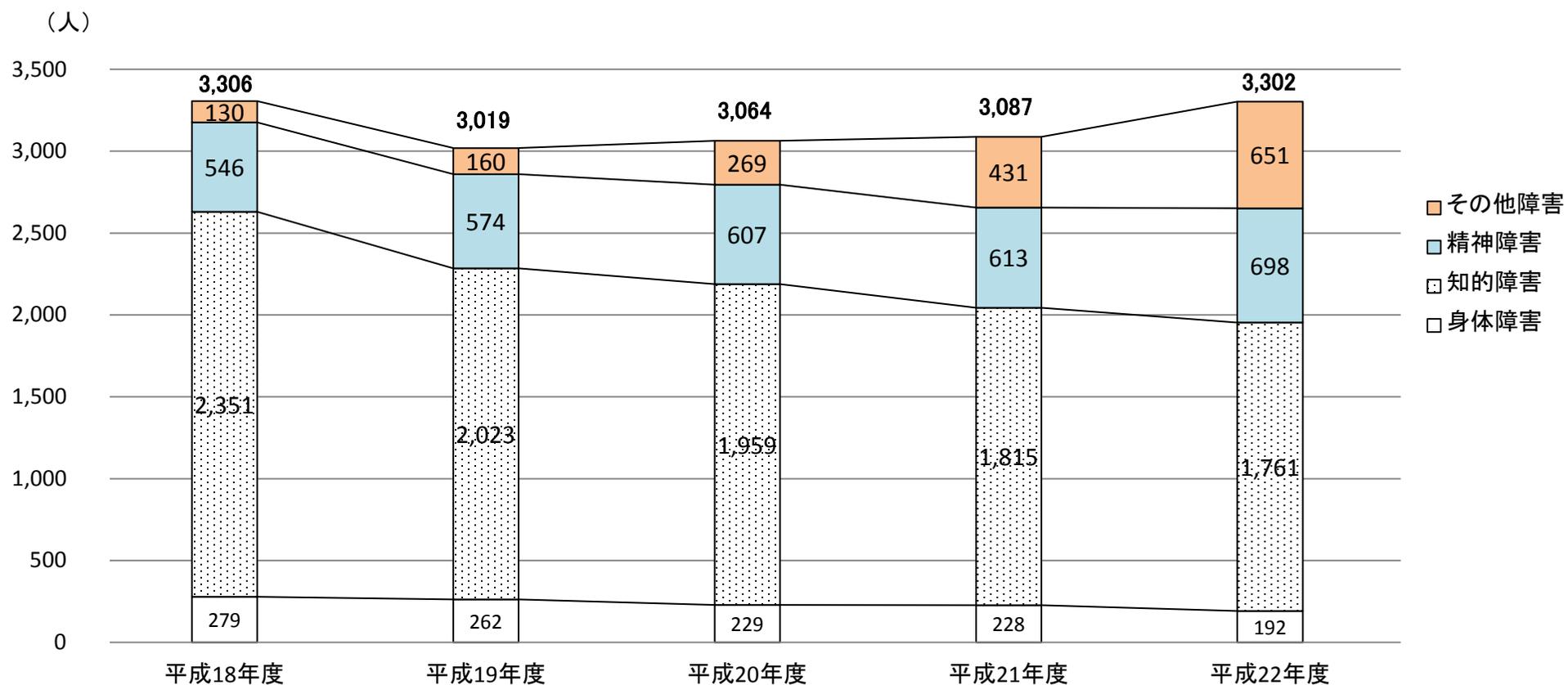
職場適応援助者(ジョブコーチ)の配置状況



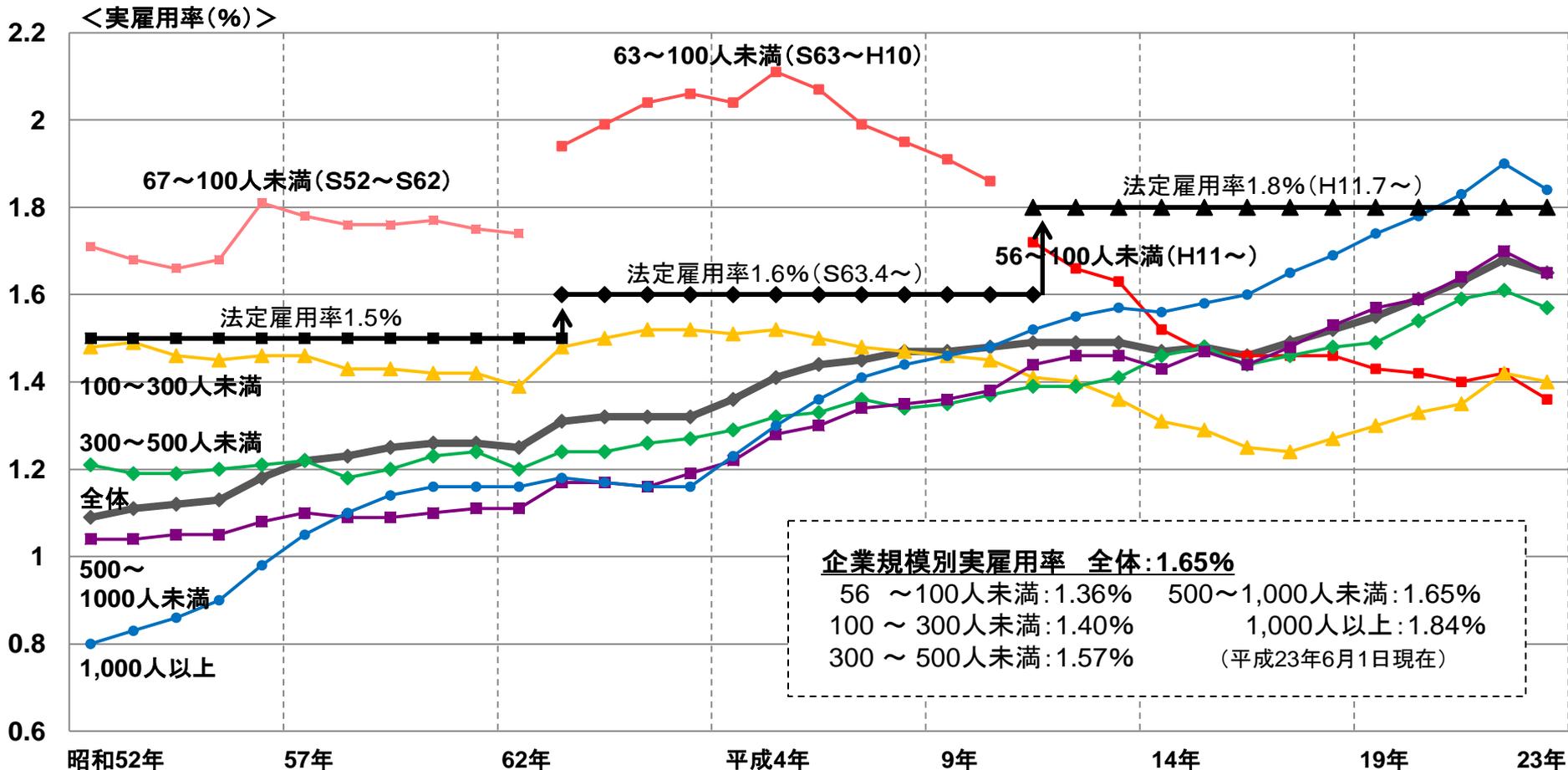
第1号ジョブコーチ支援、配置型ジョブコーチ支援、ペア(第1号・配置型)支援の実績



ジョブコーチ(地域障害者職業センター配置型)による障害種別支援実績



企業規模別の障害者雇用状況の推移



(注1) 雇用義務のある56人以上(※)規模の企業の集計 ※昭和52年～昭和62年までは67人以上、昭和63年～平成10年までは63人以上
 (注2) 実雇用率とは、労働者に占める障害者の割合。
 (注3) 障害者とは、次に掲げる者の合計である。

～昭和62年 身体障害者(重度身体障害者はダブルカウント)
 昭和63年～平成4年 身体障害者(重度身体障害者はダブルカウント)、知的障害者
 平成5年～平成17年 身体障害者(重度身体障害者はダブルカウント)、知的障害者(重度知的障害者はダブルカウント)
 重度身体障害者である短時間労働者、重度知的障害者である短時間労働者
 平成18年～ 身体障害者(重度身体障害者はダブルカウント)、知的障害者(重度知的障害者はダブルカウント)、精神障害者、
 重度身体障害者、重度知的障害者又は精神障害者である短時間労働者(精神障害者である短時間労働者は0.5カウント)

(※) 平成22年7月に制度改正(短時間労働者の算入、除外率の引き下げ等)があったため、23年と22年までの数値を単純に比較することは適当でない状況

特例子会社における障害者雇用状況の推移

	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
特例子会社数	119	129	153	174	195	219	242	265	283	319
障害者数	5,376	5,760	6,861	7,838	9,109	10,509.5	11,960.5	13,306.0	14,562.5	16,429.5
うち身体	4,268	4,425	5,078	5,629	6,127	6,639	7,107	7,470	7,752	8,168.5
うち知的	1,108	1,335	1,783	2,209	2,932	3,721	4,612	5,478	6,356	7,594.5
うち精神	-	-	-	-	50.0	149.5	241.5	358.0	454.5	666.5
障害者数(実人員)	3,205	3,491	4,186	4,853	5,695	6,650	7,679	8,635	9,516	10,883

※雇用状況は各年の6月1日現在の状況

※障害者数欄は、短時間労働者以外の重度身体障害者及び重度知的障害者については法律上、1人を2人に相当するものとしてダブルカウントを行い、重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者については法律上、1人を0.5人に相当するものとして0.5カウントとしている。

